

議会だより

# たかねざわ

1

January.2024  
No167

フッシュョイ!



町に響け 未来まで

たんたん祭り  
子ども神輿

## Contents

- |  |   |   |    |
|--|---|---|----|
| <input type="checkbox"/> 第422回定例会…………… | 2 | <input type="checkbox"/> 中学生と議員とのカフェ・ド・ギカイ    |    |
| <input type="checkbox"/> 常任委員会審査……………  | 4 | からの提言に対する回答……………                              | 15 |
| <input type="checkbox"/> 全員協議会……………    | 6 | <input type="checkbox"/> 女性リーダーと議員とのカフェ・ド・    |    |
| <input type="checkbox"/> ちょっとブレイク…………… | 8 | ギカイ……………                                      | 16 |
| <input type="checkbox"/> 一般質問……………     | 9 | <input type="checkbox"/> 突撃インタビュー 菅野忠雄さん…………… | 20 |

# 生活と地域を支援 付き商品券発行事業などを承認

# 物価高騰対策で 7万円の給付金やプレミアム

原案全して可決

## 第422回議会定例会のあらまし

定例会は、11月30日から12月7日までの8日間の日程で開催されました。条例の一部改正2件、補正予算3件、財産の取得1件、県市町村総合事務組合規約の変更1件、諮問1件、報告1件、陳情1件を審議しました。さらに、最終日の7日に条例の一部改正4件、補正予算5件が追加議案として上程され、全議案を審議し、すべて可決しました。一般質問は、5人の議員が登壇し、町政について執行部との論戦に臨みました。(P9~14)

### 一般会計補正予算 (追加議案)

#### 主な歳出補正

○物価高騰対応重点支援交付金事業費  
・低所得世帯支援分  
1億3300万円

給付額  
一世帯あたり 7万円

開始時期  
未定(令和6年1月下旬以降を予定していますが、詳細は決まり次第、広報たかねざわや町ホームページでお知らせすることです。)

・町プレミアム付き商品券発行事業費補助  
5500万円

対象者  
世帯全員の令和5年度の住民税均等割が非課税である世帯

内容  
物価高騰の影響を受けた世帯

### 財産の取得

#### 消防ポンプ自動車購入

概要  
町消防団第3分団の消防ポンプ自動車の更新

#### 契約業者

ジーエムいちほら工業(株)

契約金額  
2442万円



最新装備のポンプ車配置で地域防災力の強化へ

### 主な質疑

Q 現在の普通免許で運転できるのか?消防団の誰もが運転できる体制を。

A 地域安全課長  
車両総重量3.5トン以上

### 諮問

#### 人権擁護委員の推薦



安達奈美氏 (宝積寺)

令和6年3月31日で任期満了となる人権擁護委員の選任について、安達奈美氏を再び推薦することに同意しました。

#### 任期

令和6年4月1日から  
令和9年3月31日まで

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動をしている、法務大臣から委嘱された民間の方々です。

## 第422回定例会 町民の負託に応えた各議員の賛否!

この表は、反対のあった議案を載せたもので、全議案の詳細は2ページの二次元バーコードで確認してください。

上程された議案等 (概要)	採決結果												議決結果	掲載ページ
	菅谷	小池	野口	澤田	加藤	齋藤	横須賀	小林	神林	森	野中	阿久津		
<b>条例の一部改正</b> <b>【議案第1号】</b> 高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(議員報酬の月額を見直すため、所要の改正をするもの)	○	×	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	原案可決	P4
<b>【議案第2号】</b> 高根沢町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について(町長、副町長、教育長の給料月額を見直すため、所要の改正をするもの)	○	×	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	原案可決	P4
<b>陳情</b> <b>【陳情受理番号8号】</b> 自治会管理の集会所の漏水事故に係る減免措置を求める陳情書(まちづくり常任委員会で「不採択」にすべきものとした決定に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	不採択	P4
<b>追加議案</b> <b>【追加議案第1号】</b> 高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について(人事院勧告による公務員・議員の給料・期末手当引き上げ勧告に伴い、報酬・給与関係条例を改正するもの(2号も同じ))	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	原案可決	
<b>【追加議案第2号】</b> 高根沢町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	原案可決	



地域経済を元気に! プレミアム率40%に期待を込めて

商品券使用期限  
令和6年3月31日

活者に対する支援を実施し、消費の下支えを目的とするものです。  
1セット1万4000円分の商品券を1万円で販売、プレミアム率は40%です。  
18歳以上の町民1人2セットまで購入することができ、販売総数は、1万2500セットです。(12月26日発売)



全議案の採決結果

### 商品券発行事業に関する議会の要望

町では当初、発行事業者である町商工会との制度設計の中で、前回の実績などを勘案して、1人5セットまで購入できるようにしていました。これに対し、議会としては、より多くの町民が利用できることが望ましいとして、1人2セットまでとすることを定例会当日に要望し、最終的に2セットまでとなりました。

### 国民健康保険税条例 (追加議案)

内容  
国民健康保険税のうち出産予定のある、または出産した被保険者の産前産後期間相当分(単胎の方は4か月、多胎の方は6か月)の所得割額と均等割額を減額するものです。  
令和5年度においては、施行日(令和6年1月1日)以降の期間のみ減額対象です。

# 民間保育園入園児増加による予算増額などを審査

議会に上程された7議案のうち2議案が当委員会に付託され、審査が行われました

## 一般会計補正予算

### 主な歳入補正

- 民間保育園開設に伴う子どものための教育・保育給付交付金
- ・国庫補助金の増額 3262万円
- ・県補助金の増額 1170万円

### 主な歳出補正

- 社会保障・税番号制度対応システム改修のための国庫補助金の増額 1405万円
- 民間保育園開設に伴う子どものための教育・保育給付事業費委託料の増額 5603万円
- 社会保障・税番号制度対応の住民基本台帳ネットワークシステム等のシステム改修委託料の増額 1393万円

## 主な質疑

**Q** 保育給付事業費委託が増額となった要因は？

**A** 3歳未満児童の入園申し込みが前年度と比較して多いことや、「おとぎのおうち保育園」が開所したことによる増額である。

**Q** マイナンバーカードへの氏名ローマ字表記、および戸籍への氏名ふりがな追加のシステム改修が必要となった要因は？

**A** 住民課長  
マイナンバーカードの運用に伴い戸籍法改正と合わせて不具合が生じないための対応として行うものである。



第422回定例会くらしづくり委員長報告全文



くらしづくり常任委員会審査の様子

## 国民健康保険特別会計補正予算

### 主な歳出補正

- 産前産後期間の均等割・所得割保険料免除に伴うシステム改修委託料の増額 132万円
- 過年度分の特定健診に伴う交付済み特別交付金返還金の増額 125万円

### 委員会審査結果

全員一致で可決すべきものと決定

## 陳情審査

**自治会管理の集会所の漏水事故に係る減免措置を求める陳情書**

### 〔陳情の要旨〕

自治会集会所の給水口が凍結・漏水し、水道料金の減免措置を求めたが、対象にならない。集会所の漏水は料金の減免措置をしていただきたい。

### 〔主な意見と審査結果〕

自治会の管理者が自己責任できちんと管理すべきもの。町は、地下漏水、その他発見の極めて困難な漏水は、水道料金を減免する認定範囲を「使用水量等認定基準」で定められており、この基準で今後も運用すべき。減免措置をする必要はなく、全員一致で不採択とすべきものと決定。



第422回定例会まちづくり委員長報告全文

## ようこそ高根沢町へ

県内外の議会が視察に訪訪！

野木町議会 議会運営委員会  
期日 10月13日  
内容 議会の情報発信

鹿沼市議会 5会派  
期日 10月20日  
内容 土づくりセンター

北海道留萌市議会 第2常任委員会  
期日 10月25日  
内容 フリースペース「ひよの家」

福島県石川町議会 議会報告会実行委員会  
期日 10月31日  
内容 カフェ・ド・ギカイ

神奈川県山北町議会 福祉教育常任委員会  
期日 11月7日  
内容 児童館運営・高齢者支援事業・産科誘致事業

茨城県つくば市議会 広報広聴委員会  
期日 11月9日  
内容 カフェ・ド・ギカイ  
議会だより

# 議員報酬・町長等の給料改正などを審査

議会に上程された7議案のうち4議案が当委員会に付託され、陳情1件と合わせて審査が行われました

## 条例改正

「高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」と「高根沢町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正」

○議員報酬と町長、副町長、教育長の給料月額の見直しについて、特別職報酬等審議会より答申を受け、その内容を参考に所要の改正をするもの

## 議員報酬、町長、副町長、教育長の給料改正

区分	現行	答申の額	改正額
議長	345,000円	360,000円	360,000円
副議長	270,000円	300,000円	290,000円
議員	240,000円	270,000円	260,000円
町長	750,000円	790,000円	780,000円
副町長	589,000円	640,000円	630,000円
教育長	546,000円	590,000円	580,000円

## 一般会計補正予算

### 主な歳入補正

- ふるさと納税事業寄附金の増額 500万円
- 財政調整基金繰入金 2474万円

### 主な歳出補正

- ふるさと納税受入額増に伴う返礼品発送等経費の増額 500万円
- 大雨等による道路の法面崩落補修委託の増額 250万円

## 主な質疑

**Q** ふるさと納税の返礼品の品目は？

**A** 総務課長  
返礼品は、スコーン、お酒、いちご、米、にっこり梨など、農産物から加工品まで様々な種類がある。今年度は、卵の申し込みが多く、現時点の金額で全体の6割程度になっている。冬に向けて、いちごの

## 主な質疑

**Q** 10月1日の断水事故を受けての増額補正だが、この工事によって問題は解消されるのか？

**A** 上下水道課長  
監視装置等の機器を改修することで改善される。

### 委員会審査結果

全員一致または賛成多数で可決すべきものと決定



例年大好評の「とちおとめ」

# 行政機関の集約化に期待 新庁舎建設予定地を町民広場に決定

11月21日、全員協議会が開催され、町執行部から新庁舎建設予定地を町民広場とする方針の決定等について説明がありました。

## 新庁舎建設予定地を町民広場と決定

町では、建築後60年が経過し老朽化著しい役場庁舎の建て替えに向けた検討を令和3年10月から開始しており、令和5年3月に高根沢町新庁舎整備基本構想を策定し、現在は、新庁舎の機能、設備、規模等の整備方針を示す高根沢町新庁舎整備基本計画の策定に取り組んでいます。

なお、新庁舎の建設候補地については、基本構想において、複数の町有地の中から現役敷地と町民広場の2箇所を選定し、基本計画策定の過程で建設予定地を決定することとしていました。

そうした中、10月25日に町議会は、町民の利便性を考慮



議会からの提言を町長へ

した町行政機関の集約化に伴う敷地面積の必要性等から、町民広場が予定地にふさわしいとする提言書を町に提出しました。さらに、11月8日には新庁舎建て替えを検討する町の諮問機関である高根沢町新庁舎整備検討委員会から、「利便性」や「災害対応」、「敷地」等6条件20項目で候補地を検討した結果として、町民広場が予定地に適しているとする中間答申書が提出されました。

## 町民広場内公共施設のあり方検討委員会の中間答申

町は、これらの内容を踏まえて、町行政機関の集約による町民の利便性の向上や防災拠点として災害時における関係機関との連携が強化できる等の理由から、町民広場を建設予定地とする方針を決定しました。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
← 設計 →				
		← 工事 →		
				開庁

開庁までの新庁舎整備のスケジュール

り方検討委員会」から、11月9日に町民ホールとトレーニングセンター等の機能を有する複合化施設を新庁舎の整備時期に併せて整備することが望ましいとする答申が町に提出されました。

## 議会と町

今後は、議会代表の2名が、町民広場内公共施設のあり方検討委員会に出席し、委員の皆様と検討を進めていきます。



提言全文はこちら

# 理想的な学習環境に 町学校規模適正化基本計画（素案）から

## 学校規模適正化に関する基本的な考え方

基本計画（素案）は、「高根沢町学校規模適正化検討委員会」から答申された提言内容を踏まえ、今後の小中学校の統合、再編等についての町の考え方や計画を「素案」としてまとめたものです。

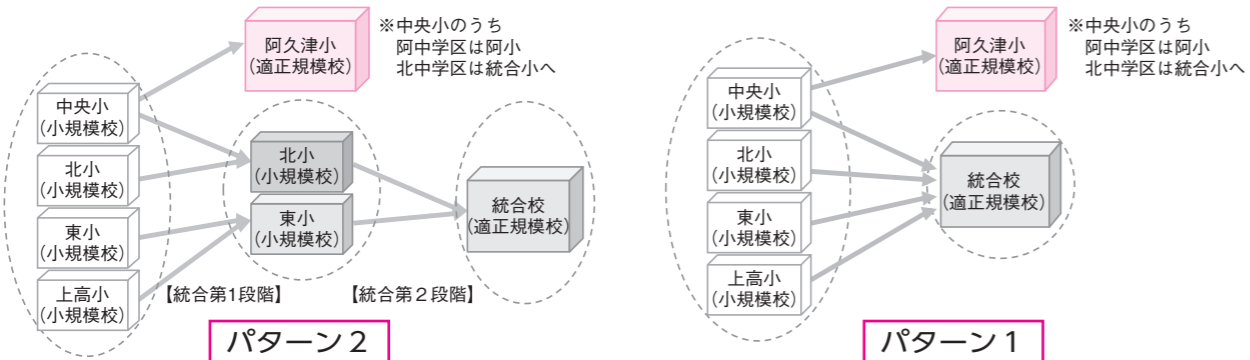
## 望ましい学校規模の考え方

町における小中学校の望ましい学校規模  
・一学級当たりの児童生徒数 20～30人  
・一学年当たりの学級数  
小学校…2～4学級  
中学校…3～6学級

## 統合・再編の基本的な考え方

阿久津小、西小以外の小規模校4校についての統合、再編を進めます。  
また、中学校も将来的な統合、再編を進めます。

## 小規模小学校4校の統合方法の検討



教育的観点、公共施設の管理の観点、地域コミュニティの観点による比較・検証などから、小規模校の統合を円滑かつ合理的に進めていく方法としては、小規模校4校を2校に、2校を1校に段階的に統合するパターン2が、より適切であると考えられます。

## 基本計画（素案）（まとめ）

○小規模小学校の統合方法  
現状の既存校舎をそのまま活用し、小規模小学校を2校に、2校を1校に段階的に統合します。

◇「中央小」を「阿久津小」と「北小」に、「上高根沢小」を「東小」にそれぞれ統合します。

## 【統合第2段階】

◇「北小」と「東小」を統合します。これにより、小学校は「阿久津小、西小、統合小」の3校体制になります。

## 今後の検討の進め方

町教育委員会では、基本計画（素案）について保護者や住民から意見を聞くため、12月から2月にかけて小学校区ごとに公聴会を開催しています。その後、令和6年8月に基本計画を決定する予定です。

## 主な質疑

**Q** 4校を2校に統合するのはいつ頃か。

**A** 学校教育課長

令和5～6年度に基本計画をまとめ、令和7～8年度に再編の協議をしながら進めると考えています。また、学区の見直し等も併せて行う。

**Q** 望ましい学校規模にするためには、パターン1とパターン2のどちらが合致しているのか？

**A** 学校教育課長

パターン1は再投資と時間がかかる。パターン2であれば教室数が確保できる。

# 町民の声を 町政に！



## こしょうがつ 小正月を思い出してみよう

「団子の木をとってこー。」  
早朝から、小正月の団子づくりに精をだす母親の音が寝床に届く。思わず布団から飛び出し、近所の雑木林に「えのき」や「ぬるで」の枝を切りに行く。肌のツルツルした木である。その枝に紅白の団子を刺して、神仏に奉納したことが脳裏を過ぎる。

小正月は、松の内明けの年中行事で、団子や小豆粥を家族で食べ合って、家族の安寧を祈ると言われる。



小正月に子どもたちが寝食をともにしてこもった小屋

筆者の地域では年末に田んぼに子どもたちと大人の協同で四角い形の鳥小屋と呼んでいた小屋が作られていた。小屋ができる子どもたちは毎日「煮しめ」や「おでん」が楽しめた。

1月14日の夜か15日の朝には小屋に火が放たれ、正月飾りのしめ飾りや御札が焼かれた。いわゆる「どんどん焼き」である。この火で焼いた団子餅を食べ、その煙を浴びるとその年は無病息災になるとの

いわれがある。しかし、なぜか、当時小屋で食べた五目飯を思い出してしまう。母親たちの子育ての思いが、ごぼうに染みていたからだろう。

このような年中行事が地域の子どもたちや大人たちの絆を強めていたのは間違いない。ここには大人たちも子どもたちも地域社会の一員として参加できた豊かなコミュニティがあった。

近年、月の表面を探る探査機を各国が競い合って飛ばしている時代になったが、このような伝統行事がなくなっていく傾向に一抹の寂しさを覚えていた。隣りの人が見えない今日の社会状況に危機感を覚える人は少なくないはずだ。それとも加齢による郷愁だろうか。

## ちよっとブレイク その2

### 迫真の演舞 あの日の町民ホール



ハンガリー大平原の羊飼いの踊り

昭和58年10月8日の夜、町民ホールの柿落として、ハンガリー民俗舞踏団の公演を町青年団が主催した。

今、役場の新庁舎が町の方針として町民広場に建設することが決定し、現在の改善センターや町民ホール等の複合化も狙い（せじょう）に上っていることを耳にする時、感慨深いものを感じる。

この公演が実現できたのは、青年団員の若さとフロンティア精神が青年活動の底辺に流れていたからだ。

音楽隊はジプシー音楽を奏で、チェンバロンの音色に、当時の「阿久津勝一」町長は満面の笑みを称えていた。

あれから40年、改めて当時の歴史的な一ページを紐解いてみたい。

舞踏団は、日本との友好を図るために来日したハンガリーを代表する芸術団体であり、日本側の受け入れも文化庁であった。欧州は芸術の先進地であり、日本の一地方の取り組みとしては画期的であったことは言うまでもない。

### 一般質問って？

「一般質問」は、町の行財政全般に関し、議員主導で政策的な論議をする場です。質問時間は、一人につき質問、答弁、再質問を含め60分以内です。

### 会議録

会議録は、定例会及び臨時会の終了後、約3ヶ月後に発行しています。

図書館中央館で閲覧ができます。また、町ホームページの「会議録検索システム」からご覧になれます。



会議録検索システム

### 一般質問の動画 YouTube

一般質問の各議員のページにある二次元バーコード、またはYouTubeで「高根沢町議会 第422回」で検索を！DVDは、図書館中央館で貸し出しています。

### Facebookもチェック

町議会の情報を分かりやすく、タイムリーに発信しています。ぜひ、この機会にチェックされては、いかがでしょうか。



- ◆小池 哲也 議員……………10
  - ①たんたん号をLRT停留場（芳賀・高根沢工業団地）まで延伸を
  - ②ホームページリニューアルで特に力を入れるのは
- ◆野口 昌宏 議員……………11
  - ①ジェンダーフリーを反映した中学校における制服の改定は
  - ②小学校の英語教育における人的資源の活用状況は
- ◆森 弘子 議員……………12
  - ①地域密着型特別養護老人ホームの整備は
  - ②「クリエイターズ・デパートメント」の卒業者に町内での創業の場を
  - ③ちよっ蔵広場および宝積寺駅東西連絡通路の照明はLEDに
- ◆横須賀忠利 議員……………13
  - ①町民から信頼を得られる行政運営は
  - ②自治会と町の関わりは
- ◆小林 栄治 議員……………14
  - ①事業の選択と集中をどう図る
  - ②町民の健康が一番

※本紙では、太字の質問を要約して掲載しています。

### 暮らしの政治を見てみよう！ 議会傍聴へお越しく下さい

次回の議会定例会は、2月29日からの予定です。  
日程詳細・提出議案等は、町ホームページをご覧ください。



本会議 (定例会・臨時会)



傍聴の手続き



### 問 たんたん号をL R T停留場 (芳賀・高根沢工業団地) まで延伸を 答 【町長】町外公共交通機関へアクセスしない



一般質問の動画はこちら！

小池 哲也 議員

**問 たんたん号延伸は 町民の利便性向上！**  
町デマンド交通システム「たんたん号」は、町内全域と宇都宮市の藤井脳神経外科病院、さくら市の黒須病院を運行エリアとしている。

**答** 本年8月に開業した「芳賀・宇都宮LRT」は、JR宇都宮駅と芳賀町の工業団地の14.6キロメートルの区間を運行している。芳賀町の「芳賀・高根沢工業団地停留場」は本町から近く、たんたん号をこの停留場まで延伸すれば、町民の利便性はさらに向上すると思われるが？

**町長** たんたん号の町外への運行は、町公共交通策定委員会での意見等を踏まえ、宇都宮市の藤井脳神経外科病院とさくら市の黒須病院の2病院に限って、特別に国土交通大臣の許可を受けている。



本町から約600mの芳賀・高根沢工業団地停留場

LRT停留場までの延伸は、7月24日の町地域公共交通会議で諮ったが、タクシー利用者の減少につながることを想定されることから、慎重に考えてほしい等の意見をいただいた。  
町内外のどこにでも希望に応じて運行できるタクシーは、町民の交通利便性確保のために必要不可欠なもの。  
タクシー業を圧迫することなく共存できるよう考慮する必要があることから、町外における公共交通機関へのアクセスは行わない。

### 問 ホームページリニューアルで 特に力を入れるのは 答 【町長】必要情報へのアクセス 町の魅力発信は

**町長** リニューアルが進められている町ホームページは、町民への情報発信の他に、町民の声を拾う役割と、町内外の方に高根沢町の魅力をアピールする役割も重要だ。リニューアルの目的と、特に力を入れるものは何か？

**町長** 「利用者が必要とする情報に簡単にたどりつくこと」が最優先課題。全体構成を見直すことによって、情報の「見つけやすさ」、「探しやすさ」、「使いやすさ」を高め、本町の魅力・特色を町内外へ効果的に発信できる高いデザイン性と機能性を合わせ持ち、本町のイメージアップを図れるホームページを構築する。



ホームページのトップ画面。リニューアルが楽しみ！

「お問い合わせ・ご意見板」や、「道路に関する情報提供」フォームにより、オンラインでの住民ニーズの把握に努めている。新たに、マイナンバー等によるオンライン申請の手続きを分かりやすくするため、デジタル対応を推進し、利用者が使いやすく、必要な情報を滞りなく受発信できるホームページにしていく。

### 問 ジェンダーフリーを反映した中学校における制服の改定は 答 【教育長】生徒や保護者の意見を踏まえながら 必要な場合には助言を行いたい



一般質問の動画はこちら！

野口 昌宏 議員

**問** 中学校の制服の改定は  
**町長** 本町の中学校の制服は50年以上同じままだが、制服の改定についてどのように考えているか？

**教育長** 制服については明確な法令等の規定はなく、最終的には学校長の権限において適切に判断すること、改定や見直しを行う際には、保護者・学校関係者から意見を聴取した上で決定することが望ましいとの通知が文部科学省（平成30年）から出されている。これらに基づきつつ対応を考えていきたい。

**問** ジェンダーフリーの観点から改定が必要では  
**町長** 現状の性別による制服の着用は、ジェンダーフリーの観点からふさわしくないと考えるが、性別によらない制服の改定が今後必要ではないか？



選択できる新制服を（写真提供：株式会社トンボ）

**教育長** 中学校の「学校生活の決まり」の中に制服のルールが定められていて、生徒会などで生徒の声を反映した校則の見直しが進められることになる。  
教育委員会では、性の多様性、性的マイノリティ、ジェンダーといった課題に対し、学校教育の中でどのように対応すべきかを考えていくことが委員会の役割と考え、その上で、学校において、生徒や、保護者の意見を踏まえた制服の見直しが図られるときには、必要に応じた助言を行っていきたい。

### 問 小学校の英語教育における 人的資源の活用状況は

**答** 【教育長】特にALTの活用については さらに充実をはかりたい

**問** 小学校におけるALTの活用状況は  
**教育長** 昨年度、中学校のALTの評価に比べて小学校の評価が低くなっているが、現在、小学校ではどのように活用しているのか？

**教育長** ALTの主な役割は、担任、日本人英語指導者（JTE）と連携したティームティーチングを行うことであり、特に小学校では「モデルの提示」、「外国文化に関する体験的理理解」、「外国語への慣れ親しみ」、「児童との丁寧な関わり」などが求められている。この点について、さらに活用を充実させていきたい。

**教育長** チームとしての指導力向上のため、年4回の研修会を設け、そこでALTの果たすべき役割を確認するとともに、県の研修会にも2回参加し、児童の興味関心を高めるための授業の進め方について学んでいる。その他、学校長による勤務評価を年3回に増やし、学校長や指導主事が適宜指導を行っている。  
本町の子どもたちが、英語を楽しく学ぶ環境を今後もしっかりと保障していきたい。



### 問 地域密着型特別養護老人ホームの整備は

答 【町長】誘致を図ってきたが

応募者はなかった

一般質問の動画はこちら！



#### 介護サービス基盤の 計画的整備は

Q 地域密着型特別養護老人ホームが整備できなかった要因と課題は何か。9期介護保険事業計画では、整備の見通しがあるのか？

A 町長

第7期から第8期の計画にかけて、事業所を公募し誘致を図ってきた。しかし、具体的な問い合わせはあったが、応募者はなかった。地域密着型特別養護老人ホームは、人件費率が高く、事業所にとっては採算の確保が難しいことが課題である。第9期計画では、事業所にとって参入するメリットを感じていただけるよう、誘致する施設を「地域密着型」から「広域型」に変更し、整備に向けて取り組んでいく。

#### 介護人材確保

Q 介護事業所は、介護士確保が困難な状況にあり、介護サービスを断る状況になってくる。人材確保のために介護報酬の引き上げを行い、待遇改善が必要である。そのために、国に対し、財政負担を増やすことを求めているかどうか？

A 町長

介護職員の待遇改善や国の財政負担の課題は、本町だけでなく、全国の自治体にとって共通する課題である。県町村会として要望等を行っていくよう、県内各町や県と協議しながら対応していく。



介護員初任者研修修了式 (グループたすけあいエプロンにて)

#### 問 ちよつ蔵広場および宝積寺駅 東西連絡通路の照明はLEDに

答 【町長】令和6年度に着手する

LED照明で 省エネルギー化

Q 白熱電球が数多く使われている東西連絡通路および階段の照明、広場内の施設の照明を、LED照明に改修すべきではないか？

A 町長

町施設の省エネルギー化の取り組みは「高根沢町地球温暖化対策推進実行計画」に基づき計画的に進めている。東西連絡通路の照明については、令和6年度にLED化に着手することとしている。広場内の照明は、埋め込み式の照明であることから、広場内の舗装改修と合わせてLED化を進めていく。

「ウモリの駆除対策は」 連絡通路の階段は入り組んだ天井になっているため、「ウモリの「すみか」になっている。また、広場の路面はもみ殻を使用した舗装のために剥がれ、全体的にゆがみが出ている。広場等の路面改修やウモリの駆除対策は、今後どのように行っていくのか？

A 町長

「ウモリは「鳥獣管理保護法」で保護されているため、捕獲や殺傷はできないことになっている。引き続き糞による施設の汚染被害を最小限に抑えるため、施設清掃を適切に実施していく。また、広場内の舗装改修も含め、施設全体を計画的に修繕していく。

### 問 町民から信頼を得られる行政運営は

答 【町長】組織力を高めていくため

職員管理の徹底に努める

横須賀忠利 議員

一般質問の動画はこちら！



#### 職員の 服務規程遵守は

Q 職員服務規程を守らない職員にはどんな処分があるか。また、職員が町に対して何らかの損害を与えた場合、損害賠償を求めることがあるのか？

A 町長

職員の身分に対する処分については、地方公務員法において「分限」と「懲戒」が規定されている。「分限」は、公務効率性を目的とし、職務遂行能力が不足した場合の身分上の処分として、降任や休職などを命ずるものである。それに対し、「懲戒」は、服務規律や公務の秩序の維持を目的とし、法令や義務違反、非行等があった場合の処分として、戒告、減給、停職または免職を行うものである。「分限」および「懲戒」は、その手続や効果を条例で定めており、処分の基準についても、それぞれの指針で定められている。



町民へのサービス向上に努める町職員

特に懲戒処分については、公務以外の非行も含め、行為の動機、状況および結果、故意または過失の度合い、職員の職責、他の職員および社会に与える影響、さらに過去に同様の行為を行っているかなどの観点から、事実を確認したうえで総合的に判断しているものであり、事案によっては、損害賠償を請求することもある。町民の皆様からの信頼を得られる行政運営を目指し、職員個々の能力を引き出すとともに、組織力を高めていくため、引き続き、職員管理の徹底に努めていく。

#### 問 自治会と町の関わりは

答 【町長】自治会活動活性化に 資するよう協力する

補助金の目的は

Q 町自治会連合会に対する補助金はどのような目的で交付されているのか。また、令和4年度の交付金額はいくらか？

A 町長

当該補助金は、町自治会連合会を財政的に支援し、運営の円滑化を図ることにより、町内自治会の活性化に資することを目的に交付している。また、令和4年度の交付実績は、419万7千円で、町自治会連合会の会議や研修、各自治会において、その活動活性化のために使われているものと理解している。

しかし、補助金の活用状況を確証し、その効果を評価するためには、交付金の使途についても報告を受けることが



自治会夏祭りは地域の活性化に一役





### 問 事業の選択と集中をどう図る

### 答 【町長】中長期的な行政運営に取り組む

小林 栄治 議員

一般質問の動画はこちら！



#### Q 最近、食料品等の物価が高騰、多くの人は生活苦に見舞われている。更に働き手不足などから税収の落ち込みも懸念される。この状況下、本町の近未来を見通し、「事業の選択と集中」を図る必要がある。財政の健全化の傍ら、どのように町づくりの方向性を定めようとしているのか？

A 町長 令和6年度経営方針で示した通り、喫緊の課題である「新庁舎の整備と公共施設の適正化」、「脱炭素社会と防災・減災の推進」、「業務改革とデジタル化の推進」を重点取り組み事項に掲げ、中長期的な視点に立った行政運営に取り組まなければならない。そして、社会保障費の増大や町税の減収が見込まれる中、事業の選択と集中を意識した実効性の高い行政運営に取り組む必要がある。



人が集まる。そこにまちづくりのヒントが生まれる。

#### 新たな産業団地の整備を検討

Q 令和4年度の本町の経常収支比率は82.4%で、前年度対比は、8.3ポイント上昇している。この数字に向き合い、どう財政規律を保ち、少子高齢化や人口減少社会にどう立ち向かおうとしているのか？

A 町長 現在、新庁舎の整備を始めとした公共施設の集約化・複合化、小中学校の適正配置に取り組んでおり、将来にわたっての財政負担の軽減・平準化による財政規律の確保に向けて事務を進めている。

### 問 町民の健康が一番 答 【町長】自立した食生活を育む

Q 予算編成にあたっては今取り組んでいる個々の事業の見直し、充実を図る必要性を強く感じる。その一つに町民の健康づくりを挙げる事ができる。医療や食生活の観点から、当局の見解を質したい。


A 町長 ハートごはん条例の理念を具現化するため、町では食育・地産地消推進行動計画に基づき、各種の取り組みを推進している。



さらに、マニー株式会社が生産した新工場の建設を進めるなど、より一層の企業誘致や雇用の創出による地域経済の好循環を生み出す必要性から、新たな産業団地の整備に向け、県との連携を密に検討を進めていく。

生活習慣病予防の観点からは、乳幼児期や少年期、青年期、そして、高齢期とライフステージごとに取り組んでおり、栄養バランスや望ましい食生活から健康的な生活習慣の基礎を学んでいる。さらに、生活習慣病予防だけにとどまらず、条例の理念である「食育・地産地消」の意識醸成にもつなげていく。

中学生と議員とのカフェ・ド・ギカイ

町からの 回答  一回答全文はこちら

中学生からの意見を受け、議会が町へ提出していた提言5件に対する回答が届きました。

#### 東小学校の跡地利用

#### 提言

東小学校跡地は、町民誰もが利用できるよう、利用方法について周知を行うこと。

北高根沢中学校サッカー部の練習場所は公式なコート1面が取れず、活動が制限されている。東小学校跡地を中学校の部活動でも利用できるよう早急に検討すること。

#### 回答

東小学校跡地は、有効活用できる町有財産の一つと考え管理しています。活用方針が決定するまでの間、地域コミュニティ維持促進の観点から基準を設けて使用できるようにしています。

#### 通学路の安全確保

#### 提言

商工会の街路灯更新事業により街路灯の減少が懸念されるため、街路灯や防犯灯の整備計画をたてること。

自転車通行帯は、交通量の多い道路には設置を増やすよう、調査・検討を行うこと。

外側線や停止線などの路面標示が薄れているので、早急に点検を行い対応を図ること。

#### 回答

街路灯や防犯灯は、町基準に基づき、必要な箇所を確認した上で、地元からの意見も



みんなで安全確保

#### 学校のエアコン設置

#### 提言

特別教室へのエアコン設置も早期に実施すること。体育館は統廃合計画や財政計画を加速的に進め、早く設置できるように取り組むこと。

#### 回答

一部の特別教室は設置を完了しています。未整備の特別教室等は、財政計画に照らし計画的に整備しています。体育館へのエアコン設置も、財政計画や学校規模適正化における統廃合等との整合を図り、整備計画を策定します。

#### 北中テニスコート改修

#### 提言

北高根沢中のテニスコートは、地面の凹凸がひどく、競技に支障が出ている。生徒が部活動を全力で楽しめるよう早急に整地を行うこと。

#### 回答

日常的に部活動で使用している中で、ローラーやブラシを使用して砂を補充しながら凹凸がないように整備できている。改修や整地工事をするければならない状況にはないと判断しています。

#### 商業施設の充実

#### 提言

高根沢町には大型商業施設がなく、本屋などの小規模店舗の閉店が続いている。商業施設が町に出店しやすくなるよう、関係機関に働きかけるなど、積極的な町・地域づくりに取り組むこと。

#### 回答

町では、駅前<sup>にぎ</sup>の賑わいづくりや創業支援等、人口増加や移住定住の促進、選ばれる商圏の形成につながる取り組みを進めています。



創業支援を行うクリエイターズ・デパートメント





仲澤佳子さん



田村啓子さん

# 女性リーダーと議員との カフェ・ド・ギカイ

11月9日、本町における女性団体8団体のリーダー12名と議員とで「各団体の活動を通じて、日頃感じている課題は」、「女性の政治参加をどう考えるか」をテーマにカフェ・ド・ギカイを開催し、活発な意見交換が行われました。

女性リーダーからは活動する際の課題や女性の政治参加の難しさなどが述べられ、それに対する議員からの回答があり、さまざまな意見が交わされました。

**テーマ**  
団体の活動を通じて日頃考えている課題は

## マンネリ化の打破を

町女性団体連絡協議会  
仲澤佳子さん（会長）

更生保護女性会の会長を6年務め、会員の増大・定着に時間を費やした。近年の状況は、会員の退会、役員のみならず、目下の課題と思われ。これは、他の団体も同様。

マンネリ化した運営の打破、年齢を超えた会組織の育みが「新しい輪」になるのでは。

## 議員から

様々な団体で、会員の退会や役員のみならずが深刻化していることを受け止めている。この問題は、大変難しいと感じている。事業活動がマンネリ化している事もあるのも、新たな発想を取り入れるのも、一つの手だと思ふ。

今後も仲澤会長の豊富な人脈で、会員を呼び込んでいたできればと期待している。

高年齢に伴い、活動休止や解散等と、活動できる支部も減少してきている。

基本的には、全て会員になれる人は、全て会員になれるが、高齢で免許を返納してしまふなど、会員に該当する資格のある人も減ってきてしまっている。また、先日の警視庁への視察研修でも若い方の参加が非常に少なく残念。

折角、活動が復活しても組織がしっかりしていないため、支部長以外の支部員が誰なのか分からない等の問題がある。親会（交通安全協会組織）や自治会が、しっかり組織作りをして欲しい。

## 組織の高齢化が課題

町交通安全協会女性部  
田村啓子さん（会長）  
鎌草一枝さん（副会長）

## 人数の確保が課題

町商工会女性部  
小堀トキ子さん（女性部長）



鎌草一枝さん

議員から  
どこの団体も会員の人数不足や活動休止などの局面に立たされていることは充分承知している。

これが決定的な解決策になるという方法は、なかなか思い当たらないのが現状。

女性部は、15年ほど前と比べると、3団体が徐々に無くなってしまっている現状を把握しているが、その対策についても難しいと考えている。

2018年に栃木県は、横断歩道での車の一時停止率が、全国でワースト1位の0.9%だったが、2023年には、ベスト3位に急浮上した。これは、皆さんの日頃の活動の成果だと感じており、これからも活動を続けて欲しいと願っている。

女性部の人数がとてども少なく実際に活動しているのは10名ほどで、残り5名は名前だけ連ねている状態のため、学童ボランティア訪問や傾聴ボランティアなどの活動にも限りがある。

家族の理解がないと参加できないことが、人数が少ない原因になっていると思う。

私は会長を6、7年やっているが、やっと次の会長が見つけられつつある。



小堀トキ子さん

## 議員から

人数が少ないので活動ができないうらやまがあれば、人数を増やすか事業を減らすかなってなってしまう。事業を減らす

## 情報の共有が困難

町ひとり親家庭福祉会  
栗橋幸子さん（会長）

(3)女性部という名称が残したとしても男性の方も協力できるように仕組みに規約を変える方法。

① ひとり親家庭の支援活動を中心としているが、プレイバシー、個人情報保護の問題もあり、新しいメンバーの確保が難しい。

誰がどこに住んでいるなどの情報が分からない。また、



栗橋幸子さん

コロナで学校との交流もなくなってしまい、全く情報が入らなくなりました。

平成29年から無料の学習塾を始めたが、学校での周知や協力は得られていない。

## 議員から

① 個人情報保護の問題があり、ひとり親家庭の連絡先を知ることが難しいのは問題。

「町災害時要援護者登録制度」があるが、この情報が自治会、消防団などで共有できないので、援護者登録している人の避難ルートが作成できない状況。

個人情報のはりばりが強すぎる。もう少し、縛りをゆるくして、つながっていく必要があると思う。

② ひとり親家庭の皆さんは、毎日が精一杯で、大変な中で生活をしているため、リーダーになってもらうのは、難しいと感じている。子育てと働くので精一杯なので、あと、若い人で、少し余裕がある人に「何とか一緒にやってみよう」と引き込むしかないのかなと思う。

行事への議員の積極的な参加を

町更生保護女性会  
生井佳世子さん（会長）  
石塚啓子さん（副会長）

① 毎年恒例の「社会を明るくする運動」の推進委員会が、6月13日に行われた。7月はその運動の強調月間で、各団体が駅でパンフレット等を配布しているが、議員さんの参加者が少ない。広報たかねざわで周知しているにもかかわらず、参加しないのは非常に残念だ。

また、「きらきらフェスタ」も、毎年、一人ひとりの議員にハガキを出しているが、来てくれた議員さんは、わずか「子どもたちは町の宝」と言っ



生井佳世子さん

町女性防火クラブ  
宇塚千代さん（委員長）  
小林陽子さん（副委員長）

なり手が見つからない

これからも、子どもたちが健やかな成長ができるよう皆さんにご協力いただきたい。



小林陽子さん

ている議員さんが、なぜ、来てくれないのか。  
② 更生保護女性会では、赤字活動も行っているが、その中で防災訓練として、ハイゼックス調理袋を使用して、炊き出しの実習を行っている。



石塚啓子さん

議員から

① 耳の痛い話であり、大変申し訳ない。議員個人の考えをちゃんとしてもらうしかない。今後は、周知を徹底してもらい、積極的に参加するよう心掛ける。

② 地域住民を含めた防災訓練は、コロナ前は毎年実施していた。赤十字活動がどんな活動か知っている町民は少ないと思う。これからは、議員・町民全体で、少しでも協力できる体制を取っていかなくてはと思う。更生保護女性会の役割は、特に決まっていない



宇塚千代さん

役員として活動してくれる人を集めるのに苦労しているのではないかと思う。

私は、地域から女性防火クラブを1名1年で選出されたが、「女性」と名称がつけただけで、なり手が見つからない現状である。

女性防火クラブの目標に「家庭の初期消火は女性から」というフレーズがあったが、今後は男性でもかまわない世の中であり、名称に「女性」と付け加える必要はないのではと思う。

と思う。皆で話し合っって検討することが大事。

男性の参加も視野に

町食生活改善推進員協議会  
村上かついさん（会長）  
飯山啓子さん（副会長）

① 会員の人数減少・高齢化。男性に参加してほしい。  
② 会の存在・活動が多くの人には知らない。  
③ 町の教室・イベント等に参加する一部の方には活動ができていないため、もっと広く活動したい。  
④ 郷土食の普及をしたい。  
⑤ 残業などが少なくなれば、男性も社会活動をする事ができるのでは。



村上かついさん

議員から

皆さんとても活躍されていると思う。

防火クラブの目的は「火を防ぐ」ことなので、日常の火事に対する意識をどう高めていくかが問われているのではないかと感じる。

現在、私たちは電化製品の中で暮らしていて、火の取り扱いの方が肌感覚で分からなくなってしまう、いざという時対応が取れないのではないかと。皆さんの活動は、普段見えにくいですが、地道に活動をしていただくことが社会の安定につながると思う。

また、防火クラブは役割があり、皆さんに活動をお願いする形をとっているが、役所の方が立場が上という意識を打破していく気持ちで、地域の方と連携し、火の取り扱いや防火に対する啓蒙を行っていただきたい。  
皆さんの仕事は軽くはなく、毎日の活動が、もっと評価されるべきだと思う。



飯山啓子さん

議員から

① 同年齢の方なら話が合いやすく、集まるのではないかと。  
② 議会だよりに「カフェド・ギカイ」の内容を載せるが、町としても広報活動を積極的にやっていくべき。  
③ 少人数でもイベント等に参加して、活動を継続していくことが、会を知ってもらえる機会にもつながる。  
④ イベントなどで、サンプルとして提供してみてもどうか。または、学校給食と連携するのもよいのでは。  
⑤ 働き方改革で、早めに帰宅する男性も多くなってきたと思うので、男性の社会活動推進が図れるよう議会として提言できる形がとれるように努める。



小堀栄子さん

議員から

人が生きていく上で、食べることは重要。その中で、食農教育に取り組んでいただき

テーマ2 (一部代表者のコメントを記載) ※敬称略  
女性の政治参加をどのように考えるか

仲澤 賛成。ただし、無理に振りかざさず、女性特有の視線・優しさを失わず、自己主張をしすぎない代弁者であってほしい。  
当然、家族・周囲の協力がなければ、これらは皆無。男性以上の「壁」を女性は飛び越えなければならぬ。  
女性側にもある偏見を互いに柔軟にしていくことで、ジェンダー平等に、より近づけるのではと思う。そんな女性政治家がもっとたくさん誕生できるのを切に希望する。

議員から

女性の政治参加に対し、心から期待している。  
女性が立候補するのは、仕事、家事、などの両立が大変だが、出馬するのは勇気がいると思うが、女性の議員が増えることはとても良いことだ。

栗橋 賛成。女性目線での政治は必要。また、女性の能力が低いとは思わない。男性の家事・育児への意識が変わらない限り、女性の政治参加はリスクが大きすぎる。

小堀 賛成。しかし、家族の理解が得られるかが問題。

参加者アンケート (抜粋)

- 女性団体代表12名
- 1. 身近な生活のしくみを決める議会や選挙について  
興味を持たない (9)  
どちらでもない (3)
- 2. 町議会への期待度について  
期待している (9)  
若返りが図れるとよい (1)  
どちらでもない (2)

ご意見を要望書にまとめ、町長に提出しました。



要望全文はこちら

# 広報委員の突撃 インタビュー あなたの声を町政に

誰もが安心して暮らせる  
地域づくりを目指して！



かの 菅野 ただお 忠雄さん(花岡)

NPO法人グループたすけあいエプロンの事務局長や高根沢町生活支援協議会アドバイザー、栃木県生活支援コーディネーター、さわやか福祉財団栃木インストラクターなど数々の福祉分野に携わっている菅野さんに、これからの地域福祉に対する思いをインタビューしました。

## 大企業からの転職

**Q** 今の仕事を始めたきっかけは？

**A** 51歳の時、会社（ホンダエンジンアリング）から転職の話があり、単身赴任とならざるを得ない状況になりました。妻と一緒にこれからの人生の在り方を考え、退職を決定、妻が代表を務めるNPO法人運営に協力することになりました。

## 地域支え合いのしくみづくり

**Q** 栃木県の生活支援体制整備事業アドバイザーになった経緯は？

**A** さわやか福祉財団の栃木県インストラクターとして「ふれあい社会づくり」を担当する中、「生活支援体制整備事業」を推進する上で県へ申し入れを行い、また地域の4市町担当者と関わりを持ち、アドバイザーとしてモデル市町を作ることから取り組みました。

## 情報の共有化を推進

**Q** 地域福祉の現状をどのように分析していますか？

**A** 地域の実態を知ることから取り組み、課題を見つけ詳細に分析します。超高齢化社会をイメージしてもらい、先進事例などの情報提供をし、行政と住民側が同じベクトルになるよう留意しています。

## 住民の意識改革が重要

**Q** 地域課題は何だと思えますか？

**A** 何をなすべきか、行政と住民の役割が整理されていないこと。行政と住民が一体で展開する意識改革を行うことが課題であると思います。

## まちの将来像

**Q** まちづくりに対して望むことは？

**A** 地域包括ケアシステム構築に向け、地域共生社会の環境整備がカギになると思います。取り組み始めて一定の成果を得るには、6、10年程度かかることから、今すぐに変革のための行動を起こしてほしい。

## 取材を終えて

地域福祉に向き合って28年の菅野さんご夫妻。自宅の敷地内に「たすけあいエプロン」の事務局、隣接して居場所「花の丘」やデイサービス「エプロン」と「木の香」を設立。ご夫妻の在宅福祉事業に対する思いは、勉強になりました。介護報酬の低さから人材不足に直面し、厳しい運営状況に置かれていることを取材を通じて痛感させられました。議会としても介護の現状に目を向けていきます。(森)

## 編集後記

女性リーダーとのカフェ・ド・ギカイの特集はいかがでしたか。議会だよりへのご感想など、皆さまのお便りをお待ちしています。

広報誌が  
スマホで  
見れて便利  
「マチイロ」&  
「栃木イーブックス」  
を検索



マチイロHP



トチギ  
イーブックスHP



県の生活支援コーディネーター研修会で講師を務める菅野さん



地域の居場所 コミュニティ「花の丘」